

ご自由にお取り下さい



あげおの星

上尾市自然学習館
上尾天文台
2024年7月1日発行
No.94

「プラネタリウム100周年」

みなさんはプラネタリウムに行った時に星を映し出す機械＝投映機をまじまじと見たことはありますか？どんな形をしていたか覚えていますか？ほとんどの方はドームに映る星座や映像は覚えていても、投映機そのものはあまり記憶にないかもしれません。

この投映機、現在は各メーカーの様々な形を見ることができますが、時代をずっと遡ると1台の投映機にたどり着きます。1923年にドイツのカールツアイス社が製造した「ツァイス1型」です。その年の10月21日にドイツ博物館の仮設ドームで関係者向けに試験公開され、1925年5月7日にドイツ博物館新館で一般公開されたことから、2023年10月21日～2025年5月7日まで「プラネタリウム100周年」という足掛け3年の世界的なイベントが現在進行中です。

日本でも様々なイベントが行われていて、日本プラネタリウム協議会（JPA）が記念事業を取りまとめています。（<https://100.planetarium.jp>）

ところでみなさんはこれまで何回プラネタリウムに行ったことがありますか？「子どもの頃に1回、デートで1回、子どもができたなら1回。人生で3回しか行かない。」という笑い話があるほど、プラネタリウムはあまり足が向かない場所とされています。

一方、その魅力にハマって数十分の投映を見るために日本全国どこへでも出掛けて行く熱心な人達（マニア）もいます。

「プラネタリウム100周年」、これを機会にプラネタリウムを見に行ってみてはいかがでしょうか？雨が降る日も暑い日も快適に満天の星を見ることができます。もしも見に行かれたら投映機にも注目してみてください。大きさ・形・色・機能、同じ物はほとんどありません。しかも埼玉県は東京都に次ぐ全国第2位のプラネタリウム保有県なので、お近くにもあるかもしれません。

そして「プラネタリウム100周年」が終わった翌年の2026年には「公開天文台100周年」が待っています。こちらは上尾天文台も施設会員になっている日本公開天文台協会（JAPOS）の記念事業です。

（<https://www.koukaitenmondai.jp/100th/count.html>）
ぜひ楽しみにお待ちください！



プラネタリウム100周年公認企画の(株)タカラミーのガチャ。世界初の光学式プラネタリウム「ツァイス1型」のミニチュアモデル。

天文科学教室 天文や科学の教室を年間数回、いろいろなテーマで開催しています。詳細はHPをご覧ください。

太陽観察会 晴れた土・日曜日、祝日（年末年始を除く） **13:00～16:20**
学習館窓口で受付をし、整理券を受け取り**1グループ(家族)20分毎の入替制**

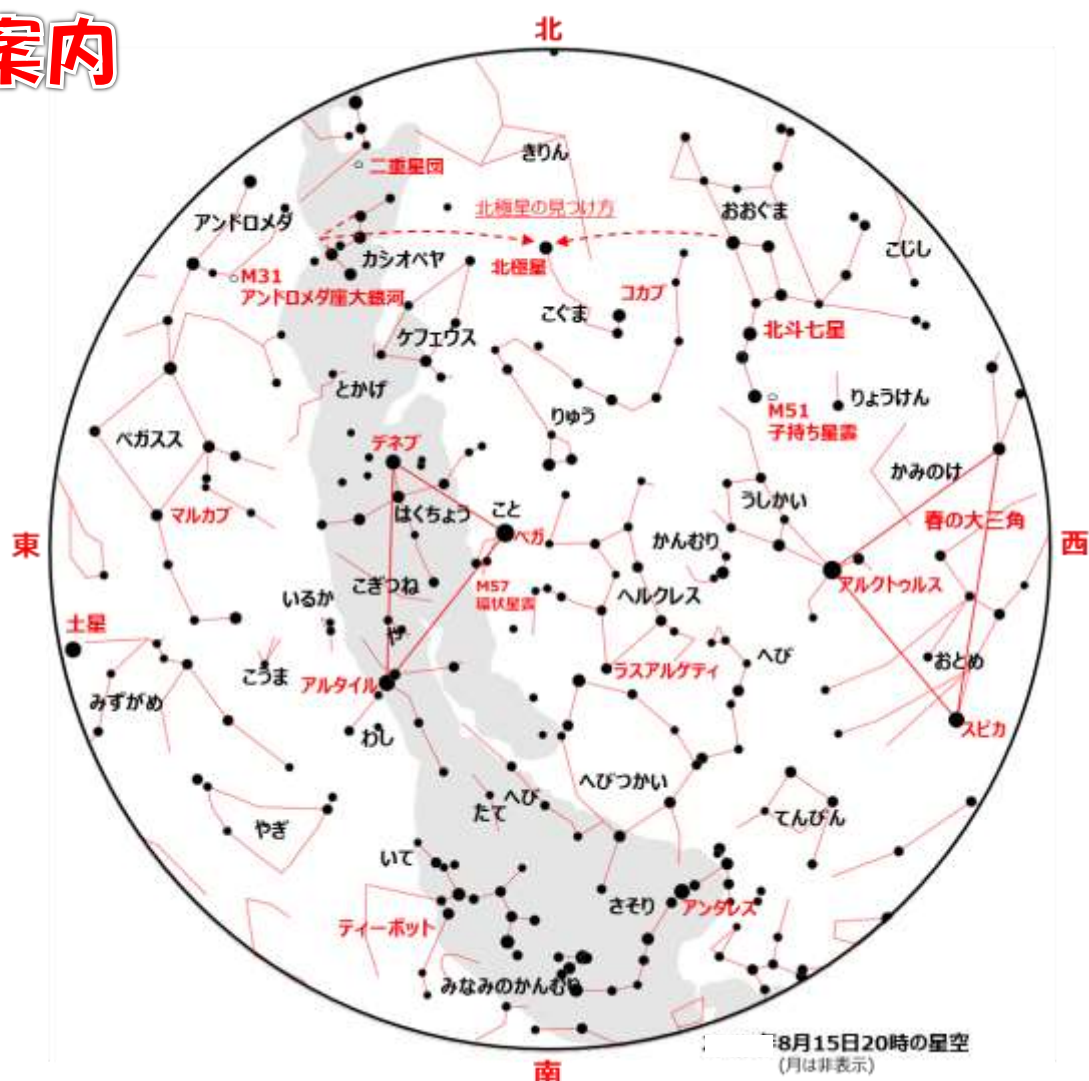
専用の望遠鏡で太陽黒点・プロミネンスの観察や、青空でも星が見えることを体験できます。

夜間天体観望会 晴れた土曜、日没約1時間後から20分ごと完全予約制で18グループ(家族)。予約は当日13時から窓口か電話で予約時間に天文台入り口にお越しください。なお、変更することがありますので詳細はHPでご確認ください。

7月、8月、9月の星空観望案内

月は7/6、8/4、9/3が新月、7/21、8/20、9/18が満月です。この時期、旧暦8/15にちなんだ風物詩である「中秋の名月」があります。1年で最も美しい月とされ、今年は9/17です。満月は翌9/18で、1日ずれていますが、これは旧暦の決め方のためによく起こることです。なお、今年は中秋の名月の近くに土星が見られます。

この土星は9/8に「衝」と言って地球に最も近づき明るくなるので、口径の小さな望遠鏡でも土星の輪を観察できるでしょう。土星は2025年には地球から見て輪が水平になるため見かけ上「環の消失」となるので、望遠鏡でのぞくと環がかなり細くなっているのがわかります。金星は夕方から宵にかけて姿を現し、沈みゆく太陽を偲ぶように西の空で輝く「宵の明星」ですが、高度は地平線から10度程度と低いです。水星も7/8-20ごろ、日没直後の西の地平線から10



8月15日20時の星空 (月は非表示)

-15度（腕を伸ばした先のげんこつ幅程度の高さ）に見えます。金星よりはるかに見つけにくく、見たことがある人は少ないですから探してください。山の上は比較的見つけやすいです。

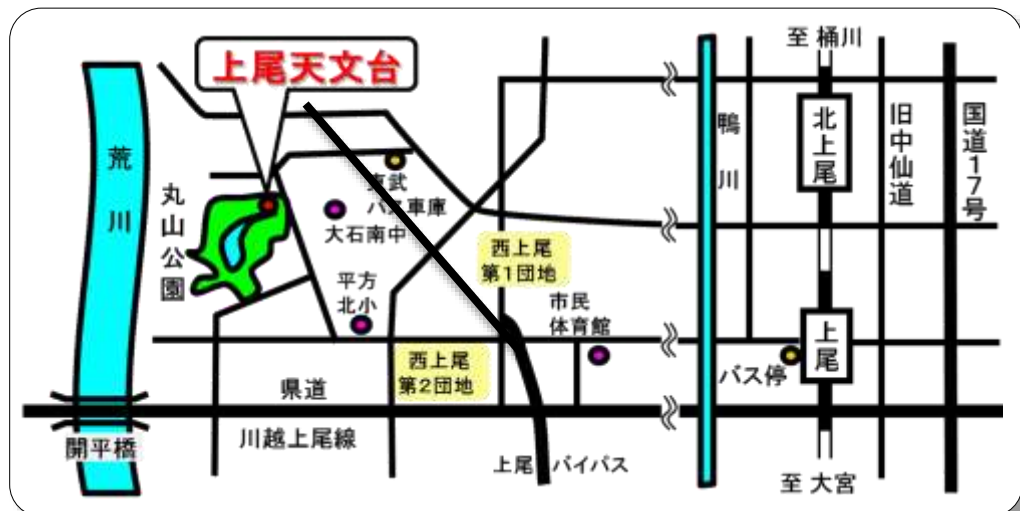
7/25午前7時ごろの西の空で、沈む手前の月齢19の月に土星が隠れる「土星食」がおきますが、空が明るいので肉眼での観察は難しく、望遠鏡がある方は挑戦してみてください。また8/15の未明にかけて、赤い火星と-2.2等星の明るい木星が接近するのが見られます。

8月の天頂近くには明るく七夕の織姫星（こと座のベガ）が輝いています。天の川を挟んで南には牽牛星（わし座のアルタイル）、更にその間にあるはくちょう座の一等星デネブで、「夏の大三角」を形成しています。はくちょう座の口ばしの位置にあるアルビレオは、望遠鏡で見るとトパーズとサファイアと表現される美しい二重星です。さらに天の川を南下していくと、地平線の近くにさそり座が横たわっています。赤く輝く一等星はアンタレスです。さそり座の東には、北斗七星に似た形の「南斗六星」でお馴染みの半人半馬のいて座があります。そのまま眼を上の方に見上げて行くと、ホームベースの形をしたへびつかい座や、天頂のあたりにヘルクレス座も見つかります。

ペルセウス座流星群が8/12の23時頃にピーク（1時間100個くらい出現か）になると予想されています。22時過ぎには月が沈むので暗い空になり流星を見るのには好条件です。前後数日も期待できます。空が開けた場所で空全体を広く眺めて観察してください。

上尾天文台のご案内

天文台の主な設備



- カセグレン式 40cm 反射望遠鏡 1基
- クーデ式 15cm 屈折望遠鏡 1基
- (車椅子対応)
- 12.8cm フローライト屈折望遠鏡 3基
- H α フィルター付 屈折太陽望遠鏡 2基
- 貸し出し用望遠鏡 10基
- 貸し出しは無料で2週間以内、住所・氏名・連絡先が確認できる資料を持参下さい。
- 他に学校貸出し用として、太陽黒点観察用もあります。

上尾市・丸山公園北口にある自然学習館併設の市立天文台。クーデ式15cm屈折望遠鏡は車椅子に座ったまま天体観測が可能。上尾駅西口より市内循環バス「ぐるっとくん」平方循環（平方丸山公園線）で自然学習館下車（本数少なく最終が早いので注意）。または上尾駅西口1番バス乗り場から西上尾車庫行き〈尾11〉バス終点下車し徒歩15分。本数少ないが〈尾12〉バスなら畔吉で下車徒歩5分。駐車場あり（午後9時閉鎖 6~8月は午後9時半閉鎖）。

所在地：上尾市大字畔吉178 電話：048-780-1030 HP: <http://www.ageo-kousya.or.jp/nature/>